

平成 25 年
第 3 回町議会定例会

行政報告

(平成25年 8 月 30 日)

幕別町長 岡田 和夫

平成 25 年第 3 回町議会定例会が開催されるにあたり、当面する町政の執行につきましてご報告をさせていただきます。

（メン川の汚染水の検出について）

はじめに、メン川の汚染水の検出について申し上げます。

すでに新聞報道がありましたように、7月10日に町民からメン川の一部に白濁が見受けられるという通報が警察に寄せられましたことから、町ではメン川の管理者である北海道十勝総合振興局とメン川が流入する十勝川の管理者である国土交通省北海道開発局帯広開発建設部とともに現地確認を行いました。短時間で白濁が消失したため、当面はパトロールなどにより状況を見守っていくこととしたところであります。

その後、北海道が7月29日のパトロール中において、メン川の一部に白濁水の発生を確認したことから、その原因究明のために国、道、町の三者が連携を取りながら水質検査等による調査を実施してまいりました。

国では白人樋門付近と十勝川本流の2か所、道ではメン川の東8号から東14号までの間の8か所、町では札内8号雨水排出口とその近傍の雨水マンホール2か所の合計3か所において水質検査を定期的に行ってまいりましたが、8月1日に白人樋門付近で環境基準の500倍の鉛が検出されました。

8月2日以降は、どの地点においても環境基準を上回る鉛等は検出されることはなく、また、白濁水の発生に関しましては、現在、その成分分析等を進めているところでありますが、原因の特定には至ってはおりません。

次に、メン川近傍地の地下水に関してであります。町が8月5日から8日まで3か所、9日から14日までは4か所において水質検査を実施した結果、環境基準を上回る鉛は検出されることはなく、また、飲料として利用している3か所の水質については、8月12日と19日に採水した結果、水質基準に適合するという報告を帯広保健所から受けているところであります。

町といたしましては、今後も国や道と連携・協力しながら継続して調査に取り組み、

適切な対応に努めてまいりたいと考えております。

（功労者）

本年も 10 月 1 日に 117 年目の開町記念日を迎えます。

不撓不屈の精神で本町発展の礎を築かれた偉大な先人たちや町民各位の限らない郷土愛により、本町が十勝の中核的な町として隆々発展していることに対し、あらためて深甚なる敬意と感謝を捧げるものであります。

例年、開町記念日に本町の功労者を顕彰させていただいておりますが、過日、各団体から社会功労賞として、3 名の方々の推薦をいただいたところであります。

今後は、9 月 2 日に開催されます表彰者選考委員会の答申を経て、表彰者の決定をさせていただく予定といたしております。

（地方交付税）

次に、本年度の普通交付税について申し上げます。

7 月 23 日、国は平成 25 年度の普通交付税大綱を閣議報告し、各自治体へ交付する普通交付税の総額を 16 兆 387 億円、前年度当初予算との比較では、2.2%の減と決定いたしました。

本年度の配分の特色といたしましては、地方公務員給与費について、国の要請に基づき 7 月から国家公務員並みに引き下げたとみなして削減を行った一方で、地域活性化等の緊急課題に対処するため、「地域の元気づくり推進費」を臨時的に創設し、これまでの給与水準引き下げや職員数削減の実績に応じた加算措置が講じられたところであります。

こうした状況の下、決定されました本町の普通交付税につきましては、58 億 4,637 万 3 千円で、前年度との対比では 6,560 万 7 千円、1.1%の減となりましたが、地方公務員給与費の削減の他、前年度に比較して基準財政収入額が増となっていることなどが主な要因であります。

なお、本年度の決定額と当初予算の比較におきまして、約1億3,000万円の留保財源が生じたところでありますが、除排雪経費など補正予算の財源として、今後の財政運営に有効に活用してまいりたいと考えております。

国におきましては、地方交付税の算定で上乗せされております地方財政計画の「歳出特別枠」などの見直しを来年以降検討するとしておりますが、地方交付税は地方固有の一般財源でありますことから、北海道や町村会と連携し、その総額の確保に向けて、強く働きかけてまいりたいと考えております。

（農作物の生育状況）

次に、農作物の生育状況について申し上げます。

本年は、5月の連休に8年振りとなる降雪があり、以降、低温で日照不足の日が続いたため、生育に遅れが生じておりましたが、その後、6月上旬からは良好な天候に恵まれ、水分不足の時期もありましたが、平年を若干、上回るまでに回復してまいりました。

主な作物について申し上げます。

小麦につきましては、昨年より1日早い7月27日から収穫作業が始まり、連日、断続的に雨が降ったことから、作業の遅れや穂発芽の発生が懸念されたところでありますが、生産者の皆さんの夜を徹した作業により、8月8日までに全町、約3,880ヘクタールの収穫作業を終えたところであります。

一昨年から「きたほなみ」に品種転換されているところでありますが、収穫量につきましては、倒伏小麦がありましたことから調整に時間を要しており、現時点での推定数量は、10アール当たり、昨年より約1俵少ない10俵弱となる見込みであり、製品歩留まりにつきましても、昨年より下回るものと見込まれているところであります。

8月15日現在の作況調査によりますと、馬鈴薯は平年並み、豆類とてん菜は3日から5日ほど早い状況で、生育は「並み」から「良」となっております。

また、飼料用作物につきましても、牧草は2日、サイレージ用とうもろこしは4日

早い状況であります。

今後におきましても、好天に恵まれ、各作物の順調な生育と、平年を上回る豊穰の秋を迎えられますことを心から願うとともに、収穫時などの農作業事故が無いよう願っているところであります。

（公共工事の発注状況）

次に、公共工事の発注状況について申し上げます。

8月30日現在の公共工事の発注済額は、平成24年度からの繰越事業を含め17億3,785万円で、発注率にいたしますと70.9%となっております。

土木工事関係では、あかしや団地道路2号や忠類上当間線、明野6線などの道路整備のほか、幕別中央地区暗渠排水工事ならびに水道配水管布設工事などを、また、建築工事関係では、あおば団地の子育て支援施設、糠内小学校の大規模改造工事、忠類上当寿の家建設工事などの発注を終えております。

今後は、都市公園遊具改築工事や古舞保育所の増築工事等の発注を予定しており、安全な工事が遂行されるよう早期の発注と適切な工期設定に努めてまいりたいと考えております。

以上、当面する諸問題等につきまして、ご報告をさせていただきましたが、議員の皆様には、引き続き町政の執行に対しまして、一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げまして、行政報告とさせていただきます。